

市民ネット 石川佐和子市議

12/1 事務所開きに寄せて

いよいよ統一自治体選挙の日が近づいて参りました。2期8年にわたり活躍してこられた石川佐和子さんが3期目を目指し、必勝を誓いお集まりの皆様方とともに、より多くの支持を広げるため決起集会がにぎにぎしく開催されているであろうことを思い、嬉しく存じます。立起の決意を固められた石川さんの自己犠牲、さらに市民自治の実践に対する強い熱意を持ち続けられていることに、心からの敬意を表するとともに、必ず勝利しその意思をそして支援される皆様方の意思を実現して頂きたくご期待申し上げます。

お世辞ではなく本音で申し上げます。札幌市議会の68名の市議の中で、最も原則的に市民自治を説き議員活動・議会活動を実践されているのが市民ネットであり、残念ながら今期は1名となってしまう会派を構成するには至らず議会活動に制約があったものの、それでも果敢に頑張ってくられたこと幾重にも敬意を表させていただきます。

市議会は基礎自治体(市民の最も身近な政府)における民主主義の実践場でなければなりません。市民が生活の場で気付いた不都合、疑問に思っていること、必要と思うことを市民同士で語り合い、これを公の場所で発信する、そのことで未だ課題に気付いていない市民に共感が生まれ、あるいは異論が生まれ、いかになすべきか共に考え悩む場所だと思えます。

だからそこでの議論は市民の生活から生まれ出る課題意識が基本になればなりません。生活クラブの活動を通じて、日々必要とされる消費活動を共同し、生まれ出る問題意識を常に涵養し、醸成し、発信する皆さん方の活動を生み、それがベースとなり市民ネットの運動となり、地に足のついた議論が可能となるのです。

平和や人権という抽象的課題も、単に憲法に書いてあるから憲法を護れというのではなく、どうすれば平和が保てるか、憲法が理想としてかかげる国際平和を実現するために日本は何をなすべきなのか、そのためには国際紛争の原因はなにか、貧困・差別・専制・隷従・圧迫と偏狭に目を向け、世界には3度の食事をとることができない子どもたちがいることを知る、私たちの具体的生活の中から課題を見出すことが強い平和を保つ力になって行くものと私は思います。

防衛予算をGDP1%から2%に倍増しても決して安全や平和が保障されるものではないことを知ることができるでしょう。

市民ネットの発想は、自分の生活基盤をしっかり見つめ、そこから他者の生活を、社会の課題を語り共感を広げる=ネットワークを広げ立ち上がる場所に強さがあり、それが民主主義の基本をなすものだと私は思っております。

自治基本条例の実践(情報提供・情報共有・市民参加)を最も熱心に追求し、あらゆる市政課題を議論する場でその理念の実践を繰り返し求めてきたのが市民ネットの議員でした。

その姿勢に私は心からの賛辞と敬意を表し、議席の死守と更なる増加を期待し、皆様方の活動が実を結ぶことをご祈念致します。

2018/12/1 (弁護士) 上田文雄